

ストーリー

舞台は海と山に囲まれた都市・冬木市。
何の変哲もないこの街に、少しずつ侵食する闇があった。
手にした者の願いを叶えるという「聖杯」、その「聖杯」を実現させる為、一つの儀式が行われようとしていた。

聖杯に選ばれた七人の魔術師（マスター）は
七騎の使い魔（サーヴァント）と契約し、
自らが聖杯に相応しい事を証明しなければならない、つまり、

マスターとなった者は他のマスターを消去して、
自身こそ最強だと示さなければならないのだ。
杯を求める行いは、その全てが“聖杯戦争”と呼ばれる。
この地に起きる儀式は、その名に恥じない“殺し合い”となるだろう。

魔術を習うもその才能を見い出せず、
半人前の魔術師として生きていた主人公・衛宮士郎。
ふとしたきっかけからマスター同士の戦いに巻き込まれた士郎は、
偶発的に七人のサーヴァントの一人、セイバーと契約する事になる。

望まぬままマスターの一人になった士郎は、
聖杯を巡る戦いに身を投じる事になるのだが